

令和2年度

企画調整課事務報告

企画調整係

商工観光係

情報通信係

○事業の概要（企画調整課）

令和2年度は中国武漢市で発生が報告された新型コロナウイルス感染症が世界各国で感染拡大の猛威を振るい、社会のシステム、人々の生活に大きな影響を及ぼしている。社会経済活動の自粛や外出自粛要請により、地域の経済・雇用が不安化する中、働き方が変わり、教育の在り方にも大きな変革が迫られた。特に、商工業や観光業、飲食・サービス業を始め農林水産業を中心に様々な産業が低迷してきている。

このような中、国では新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（令和2年4月7日閣議決定）として、感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るために新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設された。これを受け、全国の都道府県及び市町村等へ交付金が配分されたため、村においても独自の感染予防対策事業、経済対策事業、生活支援対策事業を計画し早急に取り組を行った。

また、令和2年7月3日深夜から降り続いた大雨により令和2年7月豪雨災害が発生し、これまでに経験したことのない未曾有の大災害が起こった。河川の氾濫による道路の決壊や橋梁の一部流出、浸水による住家被害、山腹崩壊、農林業施設等などの甚大な被害となった。

情報通信網の被災によるケーブルテレビ不通地域の対応、商工観光施設被災の復旧対応、全国から寄付をいただいた支援物資等の対応、球磨川復興基金の活用などに取り組んだ。

この災害状況を検証し、今後の復旧・復興施策を総合的にかつ円滑に推進していくことを目的に山江村災害検証委員会及び復興計画策定委員会を設置し、基本理念を「鎮山親水」とした山江村復興計画を策定した。

尚、平成28年度に整備した合戦峰物産販売所については、地域観光交流の拠点とし、更なる地域の活性化を図るため、集荷者数を増やす支援策の推進を図った。

人づくり分野では、コロナ禍ではあったが、住民参画による村づくり組織『100人委員会』の各部会での活動が継続されるなど、多くの部会で活動内容が具現化した。

企画調整係

1. 地方創生推進事業

年度当初は地方創生推進交付金の「やまえ栗ブランド力向上推進事業」として16,150千円、「人吉球磨10市町村が一体となった地域連携DMOによる観光地域づくりプロジェクト」として1,918千円の交付決定を受けていたが、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害の影響により、計画していた事業の全てを実施することが難しく実施可能な範囲で事業を行った。

【令和2年度 地方創生推進交付金】 交付確定額 8,943,456円

- ・やまえ栗ブランド力向上推進事業 8,716,456円
- ・人吉球磨10市町村が一体となった地域連携DMOによる観光地域づくりプロジェクト 227,000円

2. ふるさと納税

新たな取り組みとして「企業版ふるさと納税」を活用できるよう、第2期山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略を基に地域再生計画を作成し認定申請を行った。

- ・申請した地域再生計画の名称：山江村まち・ひと・しごと創生推進計画
- ・認定申請日：令和2年9月10日 山企第314号
- ・認定日：令和2年11月6日 第58回認定

3. 地方創生臨時交付金事業（新型コロナウイルス感染対応）

新型コロナウイルスの感染防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活支援などポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現を通じた地方創生を図ることを目的とした「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が配分された。本村には314,724千円が配分され、令和2年度においては、177,700千円の41事業を実施した。配分残の137,024千円（令和2年度繰越明許含む）については令和3年度に事業を実施する。

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	交付金充当	翌年度繰越
1	防災活動支援事業	10,013,384	9,701,214	
2	農林業経営安定化支援金事業	1,066,000	1,066,000	
3	感染症対策記載台購入事業	100,000	100,000	
4	福祉及び衛生関連施設等の安全環境整備事業	1,896,000	1,896,000	
5	安心安全な公共空間確保事業	457,548	457,548	
6	水道使用料等支援事業	7,548,000	7,548,000	
7	中小企業等事業継続支援金	10,289,000	10,289,000	
8	プレミアム商品券発行事業	5,980,154	5,980,154	
9	オンライン学習環境整備事業	1,824,000	1,824,000	
10	在宅勤務導入支援事業（職員テレワーク用）	1,870,000	1,870,000	
11	未来の担い手応援事業	272,598	272,598	
12	遠隔・オンライン学習環境整備事業	605,220	605,220	
13	安心安全な学び空間確保事業	1,153,680	1,153,680	
14	臨時休校対策食費支援事業	3,560,000	3,560,000	
15	在宅勤務導入支援事業（教職員テレワーク用）	2,288,000	2,288,000	
16	山江村公共的空間安心安全確保事業	7,943,100	7,943,100	
17	地域の魅力発信によるリモート関係人口拡大事業	873,300	437,300	
18	農道維持管理業務	1,782,430	1,782,430	
19	学校施設空間除菌対策事業	2,893,440	2,893,440	
20	オンライン授業システム整備事業	286,000	286,000	
21	山江村公共施設感染予防対策事業	2,467,500	2,004,500	
22	学校施設における緊急避難所機能強化事業	27,215,498	27,215,498	
23	山江村内学校情報機器整備費補助金	14,619,770	14,619,770	
24	オンライン会議・面接環境整備事業	1,195,150	1,195,150	
25	雇用継続申請費用支援事業	71,000	71,000	
26	中小企業等事業継続支援事業（拡充）	5,212,000	5,212,000	
27	中小企業等事業家賃支援事業	882,000	882,000	
28	公共施設等の管理維持体制持続化事業	24,565,798	24,565,798	

29	中小企業等事業継続支援金	12,900,000	12,900,000	
30	学び空間環境整備事業	506,000	506,000	
31	学校施設衛生環境改善事業	5,742,000	5,742,000	
32	米産地生産基盤パワーアップ事業	202,000	202,000	
33	葉たばこ共同乾燥施設機能向上事業	342,000	342,000	
34	新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通運行継続支援事業	90,000	90,000	
35	子ども子育て支援交付金	30,000	30,000	
36	学校保健特別対策事業費補助金	61,000	61,000	
37	リモートワーク及び分散業務推進事業	58,000	58,000	
38	基準日以降誕生新生児の特別定額給付金給付事業	1,700,000	1,700,000	
39	飲食店の新型コロナウイルス蔓延防止対策支援事業	314,000	254,000	
40	山江村内学校情報機器整備費補助金（2次）	15,345,600	15,345,600	
41	新型コロナウイルス感染症対策飲食業支援事業	2,750,000	2,750,000	
42	やまえ暮らし応援券発行事業	36,060,000	33,489,000	36,060,000
43	ウエルカムやまえキャンペーン事業	10,208,000	10,208,000	10,208,000
44	農業・食品産業強化事業（JAくま茶工場）	189,000	189,000	189,000
45	スマート農業推進による経営継続支援事業（トラクタ購入）	2,462,000	2,462,000	2,462,000
46	丸岡公園コロナ禍マルシェ事業（野営場整備）	2,376,000	2,376,000	2,376,000
47	学生等就学支援給付金事業	1,900,000	1,900,000	1,900,000
48	公共施設等の管理体制継続化事業（2次）	1,400,000	1,400,000	1,400,000

4. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位：円)

No.	対象必須工事	工事額（税込）	交付決定額
1	断熱材の設置	1,155,000	200,000
2	手すり設置	561,000	112,000
3	段差解消	1,174,133	200,000

(3) 令和2年国勢調査

基準日：令和2年10月1日

指導員：3名

調査員：19名

(4) 令和2年度市町村民経済計算

調査対象年度：平成30年度

9. 山江村ふるさと応援寄附金

【寄附金内訳】 令和2年3月～令和3年2月寄附

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	22,423,000円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	3,916,000円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	6,376,000円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	12,766,000円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	1,588,000円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	1,336,000円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	22,254,000円
8	災害支援金	5,198,085円
	合計 (6,544件)	75,857,085円

【寄付金活用内訳】

令和2年度は活用なし

10. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○ 国土利用計画法第23条第1項による届出件数 (10,000 m²以上)

届出件数：7件

無届出件数：13件

11. 山江村特定個人情報に関する安全管理措置支援業務

平成27年の番号法施行により、個人番号利用事務及び個人番号関係事務の実施主体である地方公共団体に安全管理措置を講ずる義務が課された。そのため特定個人情報の適正な取り扱いに係る管理体制の整備が必要になったため、「山江村特定個人情報等の安全管理に関する基本方針」を策定した。その他、新型コロナウイルス感染防止対策として庁舎内にオンライン会議環境の整備等を行った。

12. 山江村移住定住促進事業

例年、移住定住促進施設「淡島ゲストハウス」で、移住希望者に対し田舎での暮らしを体験してもらっているが、新型コロナウイルスによる受け入れの一時中止や、令和2年7月豪雨により利用が制限されたため1世帯のみの利用となった。

13. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス及び豪雨による影響で事業を実施できなかった。

14. 山江村地域づくり研究所

地域づくり研究所は、山江村の情報をあまねく集め、データ化することで、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進めた。

また、地域づくりの実践活動を支援する事業も行っており、全国的に観光地域づくりが進められる中、本村では住民が主体となり地域づくりを行う山江村未来塾100人委員会が幅広い分野で活動している。さらに、これまでの住民主体の地域づくりの活動を基盤とした観光地域づくりの推進組織として、『山江村観光交流促進協議会』もフットパスをはじめとする様々な事業を行っており、地域の活性化につながっている。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響もあり、例年に比べ活動が制限された。

(1) 研究分野

① 村が作成する計画への政策提言

② 山江村のデータ収集

事務報告、観光統計、各種計画、熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事、昔の山江村の写真等の収集。

今年度は昭和前半の村の情報を収集するため、人吉新聞縮刷版（S33～S44年）を購入しデータ収集を行った。

(2) ICT分野

① 情報発信と閲覧分析

【HP】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス、やまえ栗公式サイト

【Youtube】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス

【Facebook】山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾 100 人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス

※災害時には通信網が被災し村のホームページ等での情報が発信できなかつたため、ポケット Wi-Fi を利用し Facebook による情報発信を行った。

【研究所通信】広報やまえ 2020.4月号～2021.3月号『地域づくり研究所通信』

※災害や新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が実施できなかったため、2020.9月・12月・2021.2月・3月号は休載。

【情報メディア会議】

令和2年4月～令和3年3月 計23回開催

② 情報化推進員

村内16地区に1名ずつ設置し各推進員に iPad を貸与している。地域の出来事や困りごとなどインターネットを使って情報を共有する。

・委員16名（任期：R1.5.10～R3.4.30）

・会議 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は開催せず、Web 会議システム（skype）の操作説明をリモートで実施した。

・情報 投稿数：45件、サポート：1件

・iPadの更新：2020.8.1～2024.7.31（ipad mini 17台）

③ GIS

地理情報システムの導入に関し全庁的に調査等を行うため、GIS システム導入ワーキンググループを設置し、システムの特長やシステム導入の効果等に関し調査研究を行った。昨年度、ESRI ジャパン（株）が提供する GIS 利用支援プログラム（1 年間）を導入したが、災害等の検証のため、1 年プログラムを延長した。

- ・会議 令和 2 年 6 月 26 日開催
- ・GIS 利用支援プログラム延長期間：2020. 7. 1～2021. 6. 30

④ 補助金等情報収集

村の補助金のリスト化を行い、職員や村民も活用できる補助金等活用ブックを作成した。改正等があるので冊子は作らず、PDF 化しホームページ等で最新の情報の提供を行うようにした。

- ・発行月：令和 2 年 8 月（12 月に内容更新）

⑤ Web 会議システム講習会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、オンライン形式の会議が多くなったため、職員を対象とした Web 会議システム（zoom）操作講習会を開催した。

- ・開催日：令和 3 年 1 月 22 日 午後 1 時と午後 3 時の 2 回開催
- ・参加者：13 名

(3) 人づくり分野

① 山江村未来塾 100 人委員会

山江村未来塾 100 人委員会は、「村民の誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」の実現を目指す住民参画による地域づくり組織である。9 部会において分野別に自らの夢と希望の実現に向けて、地域づくり活動を行っている。今年度は新型コロナウイルスや災害の影響もあり、活動ができなかった部会もあった。

【地域づくり活動補助金】 補助金総額：355,000 円 （2 団体）

○100人委員会 部会ごとの活動実績

部会	活動の具体的内容	会員
① 若手農業者 部会長：松本聖司 書記：秋丸大輔	・農作物の栽培（カボチャ・さといも） ・CATV への出演（こぎゃんと知っとる!?)	9人
② やまえ栗ブランド 部会長：久保田武久 書記：田山雄貴	・生栗直売 ・栗選別機の制作 ・栗の販売（9月～10月）	10人
③ 観光・交流 部会長：田村四郎 書記：中竹浩之	・千畳の滝現地調査（4/16） ・フットパスコースの整備・除草作業の実施 ・三平桜周辺の整備 ・観光案内人	31人
④ 食の提供 部会長：山北早織 書記：尾方恵美	・栗づくしおもてなしコンサートへの協力（12/12） ※新型コロナウイルス感染症の影響のため、仮設住宅入居者へ栗を使った料理の配布のみとなった。	11人
⑤ 情報発信 部会長：山本浩己 書記：藤本一彦	・Facebook「知ったかぶり!山江村情報ネットワーク」、Instagram「#山江村」への投稿	6人
⑥ 環境・防災 部会長：横山浩之 書記：山本征治	・山江村災害検証及び復興計画策定委員会へ委員として参加	14人
⑦ 福祉 部会長：川内孝之 書記：深水久美子	・カルタ大会【5月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、10月4日延期としていたが、災害のため中止】	5人
⑧ 健康・スポーツ 部会長：藤田雄哉 書記：竹本秀樹	・ストレッチ動画配信（CATV） ※コロナ対策	7人
⑨ 文化・教育 部会長：横山理恵 書記：吉川和子	・「ちいさなむらのくりものがたり」の絵本配布 ・山江中での読み聞かせ（10/9）	6人

② 山江村観光交流促進協議会

本村に係るヒト、モノ、コトそして情報化戦略をもとに、村民自らが参画した交流ネットワーク組織として、多様な人材と関係機関が連携した観光・交流による観光地域づくりを実現することを目的に設立。今年度は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害の影響もあり、予定していた事業が出来なかった。

・総会：令和2年4月24日

※新型コロナウイルス感染拡大のため、書面での開催。

・事業

- ①フットパスコース等の整備・点検作業
- ②お花見ハイキング（3/20）
- ③やまえくり平オリジナルぬいぐるみ・のぼり旗制作
- ④通り名看板設置
- ⑤フォトスタンドの作成
- ⑥フェイスブックによる情報発信
- ⑦来訪者アンケート調査の実施（web アンケート）

③ やまえ応援大使

本村の恵まれた自然環境、歴史、文化遺産その他観光資源及び特産品等の魅力を広く発信することを目的に、やまえ応援大使を令和元年度に任命している。広報やまへの送付などにより、山江村の情報を提供した。

・東京都港区六本木『 エディション・コウジシモムラ 』
オーナーシェフ 下村 浩司 氏

(4) 山江村復興計画関連

令和2年7月豪雨災害は、万江川流域を中心に甚大な被害を及ぼした。10月に災害検証及び復興計画策定委員会を立ち上げ、令和3年3月に計画を策定し公表を行った。

① 山江村復興計画

・会議 第1回 令和2年10月29日 ※CATVでの生中継を実施
第2回 令和2年11月6日・7日

※万江川筋・山田川筋の現地調査及びワークショップ

第3回 令和2年12月23日 ※CATVでの生中継を実施
第4回 令和3年2月12日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、リモート参加を導入。

第5回 令和3年3月17日

- ・地域懇談会：令和2年11月22日 山田地区・万江地区で開催。
- ・災害体験談等ヒアリング調査：令和2年11月16日・18日・19日に実施。
- ・業務委託：(株)高木富士川計画事務所 委託料4,400,000円
※社会資本整備総合交付金を活用（交付額2,200,000円）
- ・策定及び公表：令和3年3月26日

② 球磨川流域復興基金

- ・令和2年7月豪雨被災者等支援交付金交付額 2,034,000円
 - ① 【産業振興課】農地の自力復旧支援事業 911,000円
 - ② 【建設課】堆積土砂撤去等支援事業 1,123,000円

商工観光係

1. イベント

(1) やまえつつじ祭り

ツツジの名所と山江村の魅力を発信し、祭りによる交流人口拡大を目指すことを目的に開催しているやまえつつじ祭りだが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策として規模を縮小し「季節限定丸岡公園出店」を実施。メインの祭りは中止した。

■期日：令和2年3月23日～4月11日

■場所：丸岡公園野営場前

■出店者：2団体

(2) やまえ栗まつり（第16回）

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催する栗まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止及び令和2年7月豪雨災害によりメインとなる祭りは中止。生産者による生栗直売等一部実施した。

■開催期間 令和2年9月1日（火）～令和2年9月30日（水）

■内容

① やまえ栗直売

実施日 9月13日・20日・27日 9時～12時

場所 くま中央森林組合山江支所前

売上 203kg（前年比+74kg）

② 栗づくしおもてなし

「コロナと災害に負けない！栗づくしおもてなしコンサート」を計画しコンサートは新型コロナウイルス感染拡大により中止となったが、栗づくし料理おもてなしイベントは実施した。

2. 山江温泉ほたる・物産館ゆっくり

令和2年度は新型コロナウイルスの感染が国内中に拡大したことを受け、国内外における観光客の移動が減少したことで温泉及び物産館での売り上げも比例して減少傾向が続いた。

利用者数の回復も含め、更なる経営改革に取り組むよう支援・指導を行う。

(1) (株) やまえ

・山江温泉「ほたる」宿泊者数（人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3,977	4,529	4,389	3,358

・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数（人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
山江温泉ほたる	87,887	88,138	75,676	57,630
物産館ゆっくり	41,886	37,501	34,452	26,047
計	129,773	125,639	110,128	83,677

・売上額（千円）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
197,613	202,029	190,877	138,789

・当期純利益（千円）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
10,901	4,566	4,295	△8,925

・施設工事

工事名	工期	工事請負額
温泉ほたる喫煙所建設工事	4/20～9/30	1,518,453 円
温泉ほたる高圧受変電設備改修工事	11/16～3/10	24,565,798 円
温泉ほたるTV同軸配線新設工事	3/12～3/16	209,000 円
温泉源泉ポンプ取替工事（繰越）	4/20～6/23	2,699,290 円

・備品購入

備品名	購入額
温泉ほたる家族風呂脱衣室エアコン2機	220,000円
物産館ゆっくり加工場栗皮むき機	451,000円

(2) 災害に伴う入浴支援

●避難者入浴支援

熊本県が実施する避難者入浴支援を山江温泉ほたるにて実施を行った。

支援利用者数：292人 支援額：131千円

●被災者入浴支援

熊本県が実施する被災者入浴支援を山江温泉ほたるにて実施を行った。

支援利用者数：86人（11日間） 支援額：425千円

(3) 災害復旧作業

山江温泉ほたるの裏山から大量の土砂が流出し、ほたる亭は床上浸水し、敷地内には広範囲にわたり土砂が滞留した。重機により滞留した土砂撤去を実施した。

3. 特産物振興関係

特産である栗のブランディングを行うことで、村民所得と山江村の認知度向上を目指している。

昨年度は、球磨中央高校にて「球磨地域学」という授業の一環で、「やまえ栗のブランド化について」と題し講演を実施した。

(1) 山江村特産品等出店事業助成金交付実績

申請件数 0件

(2) 海山交流事業（対馬市）

毎年、訪問していた『いきいき豊玉まつり産業祭』へは、コロナウイルス感染拡大により訪問を断念した。

4. 内水面漁業振興に関すること

(1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚（やまめ）養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日：令和2年4月2日（木）

放流稚魚数：996匹 放流場所：万江川の各所

(3) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎10,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

アユ放流負担金 240,000円

放流日：令和2年4月27日（月）

(4) 災害復旧事業

令和2年7月豪雨によりヤマメ養殖場に山崩れにより河川を伝って大量の土砂が流入し、養殖していたヤマメが全滅した。施設の早期回復を図るため、流入した土砂の撤去及び給水施設の改修を施工した。

【工事】

内 容	修 繕 費
ヤマメ養殖場用水路復旧工事	1,366千円

5. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催。令和2年度は、コロナウイルス感染症の蔓延により、熊本丸岡会及び関西丸岡会は開催中止となった。

6. ボンネットバス「マロン号」

本村が所有する山江村ボンネットバス「マロン号」は、本村の観光をはじめ、多岐にわたる振興及び地域づくり活動への参加することにより、山江村の広告塔として活躍しています。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛した。

【修繕】

内 容	修 繕 費
ボンネットバス車庫シャッター修繕	373 千円

7. 商工業支援

新型コロナウイルス感染症拡大により売り上げが大幅に減少した村内の中小企業等を支援するため以下の事業を実施した。

番号	事業名	概要	補助等実績 (千円)
1	山江村プレミアム商品券発行 事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率 30% ・2,000 部発行 	6,507 千円
2	中小企業等事業継続支援金	<ul style="list-style-type: none"> ・前年売上 2 か月比の 1/2 (上限 50 万円) ・前年売上 6 か月比に対する支援 	28,401 千円
3	緊急対策家賃支援金	<ul style="list-style-type: none"> ・国の給付金の対象となる事業の事業主負担分 (上限 20 万円) 	882 千円
4	山江村雇用調整助成金等申請 費用補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・国の雇用調整助成金申請に伴う支給申請事務を社労士等に依頼する際の費用への補助 1/2 (上限 10 万円) 	71 千円
5	飲食業等事業継続支援給付金	<ul style="list-style-type: none"> ・売上減少が懸念される飲食業等への資金の支援 ・労働者数×5 万円 (上限 50 万円) 	2,750 千円
6	飲食店等新型コロナウイルス 感染防止設備等導入補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店等新型コロナウイルス感染防止設備等導入への支援 9/10 (上限 10 万円) 	314 千円

7	山江村雇用調整助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等で事業縮小を余儀なくされている事業者の労働者雇用維持に対し支援 ・国の給付金対象となる事業の事業主負担分へ助成 	0 千円
8	中小企業等経済対策資金利子補給補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の維持と拡充のため資金の融資を受けた際の利子負担に対する補助 	0 千円

8. 丸岡公園

丸岡公園でも令和2年7月豪雨の際に法面が崩土。重機を使用し、土砂の撤去等を実施した。

9. 公衆用トイレ

令和2年7月豪雨により、管理するトイレが被災をした。

・淡島公衆トイレ

河川の増水により施設が冠水したことで、浄化槽内には土砂が流入した。また、トイレ設備もすべて故障し、改修工事を実施した。

・工事名：令和2年度淡島公衆トイレ災害復旧工事 工事費 2,013 千円

・大川内公衆トイレ

隣接する山からの崩土で施設に土砂が被さった。また、大川内地区の水道が被災し使用できないことにより、トイレへも水が来ないため、トイレは使用不可となった。

情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成 22 年 4 月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS 放送・CS 放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによるインターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。開局より 10 年が経過し情報基盤通信機器の老朽化が進んでいるため、平成 29 年度より 3 ヶ年で機器の更新を行ったが、4K・8K 放送の対応や域内無料電話とインターネットを制御しているシステムの生産終了に伴う対応等新たな課題が出てきている。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により村内小中学校が 4 月中旬から 1 か月間臨時休校となったため、教育委員会や各学校と連携し自宅で学習する児童・生徒に向けて、学校の先生が企画・出演する「おうち学校」を 4 月 20 日から 5 月 7 日まで放送した。未加入世帯や視聴出来なかった方のため、ケーブルテレビの YouTube チャンネルで限定配信も放送後同時に行った。加入促進及びオンラインでの学習機会が増加した子育て世帯の支援のため、村内小中学校へ通う世帯のインターネット使用料を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し令和 3 年 3 月まで減免（2,500 円→1,000 円）を行った。近年はインターネットの需要が増加しており、利用者の増加で時間帯によっては接続しづらい状況も確認されるなどインターネット高速化への要望も出てきている。

令和 2 年 7 月豪雨災害では、大雨により増水した河川災害や山腹崩壊によりケーブルテレビ伝送路が共架している電柱も倒壊し、伝送路が断線する被害を受け、一時は山田下払・大平地区、山田尾寄崎・万江鳥屋地区、万江大川内地区の 50 世帯ほどが放送停止となったが、令和 3 年 3 月までに応急復旧及び本復旧業務は完了した。また、未曾有の災害であった豪雨災害からの復旧・復興への思いを村民全体で共有できるよう山江村災害検証及び復興計画策定委員会や地域懇談会の様子を生放送及び録画放送を行った。また、災害を記録し、災害からの復旧・復興の状況を伝えるため日々撮影し放送を行っている。

1 加入状況

ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
令和2年3月末	1,143	936件	81.89%	事業所等55件
令和3年3月末	1,137	942件	82.85%	事業所等55件

インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
令和2年3月末	1,143	276件	24.15%	事業所等11件
令和3年3月末	1,137	327件	28.76%	事業所等12件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については6件の増となっている。世帯数も微減しており、近年加入率は80%程で推移している。

加入件数と新規の引込件数が増加し新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。インターネットについては年々増加傾向であり、子育て世帯のインターネット使用料減免を行ったこともあり、加入件数が51件の増、加入率が4.61%の増となっている。

2 ケーブルテレビ事業運営状況

(1) 使用料、手数料収入

○料金設定

- ・基本使用料 1,500円 (セットトップボックス1台含む)
- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2,500円 (一般世帯)、4,000円 (事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

○令和2年度使用料収納状況

(単位：円)

項目	調定額	収入済額	収入未済額
現年度分	23,928,000	23,585,800	342,200
過年度分	669,400	215,700	453,700
計	24,597,400	23,801,500	795,900

(2) 番組制作

○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりや広報でお知らせする内容などを検討した。

(毎週土曜日更新の15分番組)

○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組

(毎週土曜日更新の30分番組)

○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組
平成26年5月より放送を開始した。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組

(不定期更新)

○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、ドキュメンタリー番組「やまえ NOW」
議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

●おうち学校

- ・臨時休校中の子供たちに向けて、村内小中学校の先生が企画・出演した学習支援番組(1コマ20分程度:全78コマ)

放送期間:令和2年4月20日(月)~5月7日(木)

※未加入世帯や視聴出来なかった方のため、放送終了後YouTubeチャンネルで限定配信し、インターネット経由で視聴出来るよう配信した。

●災害特別番組「希望の歩み~立ち上がれ、山江村~」

- ・令和2年7月豪雨災害の検証と復興計画策定に係る様子を放送

①第1回委員会 令和2年12月5日(土)~11日(金)

②第2回委員会(万江川歩き) 令和2年12月12日(土)~18日(金)

③第2回委員会（山田川歩き・ワークショップ）

令和2年12月19日（土）～25日（金）

④地域懇談会（山田・万江地区） 令和3年1月9日（土）～15日（金）

⑤第3回委員会 令和3年1月16日（土）～22日（金）

⑥第4回委員会 令和3年3月6日（土）～12日（金）

⑦第5回委員会 令和3年3月22日（日）～26日（土）

（3）機器操作等サポート

○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。

また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

○サポート内容

- ・主なサポート内容は次のとおり

テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビやSTB等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

電話がつながらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合
- ・ONUの不具合

インターネットがつながらない

- ・告知端末の不具合
- ・ONUの不具合
- ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。特に高齢の方からのサポート依頼が近年増加している。

※開局から10年を経過し、宅内機器の経年劣化による故障も目立ち始めている。
※機器の交換など専門性を要するものについては、(有)興和通信と締結している
保守の範囲内で実施する。

3 ケーブルテレビ業務委託事業

(1) 令和2年度 ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由：情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者：熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費：8,137,800円

(2) 令和2年度 ケーブルテレビ施設応急復旧業務

事業理由：令和2年7月豪雨災害で被災した山田下払・大平地区及び山田尾寄崎地区・万江鳥屋地区の伝送路の応急復旧を実施するもの。

委託業者：熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費：3,903,790円

(3) 令和2年度 ケーブルテレビ尾寄崎災害復旧業務

事業理由：令和2年7月豪雨災害で被災した山田尾寄崎地区の伝送路の災害復旧を実施するもの。

委託業者：球磨郡山江村大字山田

有限会社興和通信

代表取締役 窪田秋宏

委託費：214,500円

(4) 令和2年度 ケーブルテレビ災害復旧事業

事業理由:令和2年7月豪雨災害で被災した万江大川内地区の伝送路の災害復旧を実施するもの。

委託業者:熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費:7,997,000円

(5) 令和2年度 仮設住宅伝送路・ドロップ新設工事

事業理由:中央グラウンド仮設団地で山江村ケーブルテレビが視聴できるよう引込工事を行うもの。

委託業者:球磨郡山江村大字山田

有限会社興和通信

代表取締役 窪田秋宏

委託費:2,695,000円

(6) 令和2年度 IP告知端末購入事業

事業理由:IP告知端末が2025年に生産終了することに伴い今後入手が困難となるため、必要台数60台を購入するもの。

委託業者:熊本市中央区桜町3番1号

株式会社 NTTフィールドテクノ九州支店 熊本営業所

取締役熊本営業所長 馬渡修一

委託費:2,838,000円